

スタッフ一同頑張ります。

**ワークスいけじま 管理者 織田 洋一**



**☆マイブーム(趣味や最近ハマっていること等): マッサージ・ドライブ**

昨年度より引き続き、ワークスいけじまの管理者を務めさせていただくことになりました織田洋一です。

昨年度は利用者の皆さんやスタッフとのコミュニケーション、関係機関のスタッフの方々との連携等を通じて多くのことを学び考えることが出来ました。

支援については、利用者の皆さんの障がい特性や性格等を理解・感受することに努め、定員20名の小規模な事業所の強みを活かして焦らず時間をかけてアプローチできたケースがいくつもあったと思っています。「不適切」といわれるような行動が見られた場合も、「何故そのような行動に繋がったのか?」という疑問をまず最初に持ち、スタッフ全員で考察や試行を繰り返しながら改善に向けて支援を展開していく、ということがスタッフ間で定着したことは、昨年度の大きな成果だったと感じています。

ワークスいけじまでは、様々なサポートを利用しながら一人暮らしやグループホームで生活されている方が多いのですが、そのサポートを行っている関係機関のスタッフの方々とも信頼関係を築き、連携することが出来たことも良い経験でした。

今年度の抱負としましては、[それぞれの強みを活かし合い、足りずの部分は補い合うことができるような環境・雰囲気作りを行う]ということを挙げたいと思います。

**メープル 管理者 十川 知己**



**☆マイブーム(趣味や最近ハマっていること等): 子どもの少年野球の試合観戦**

今年度、事業所メープルの管理者を拝命しました十川知己と申します。メープルには13年ぶりになります。育成会に入職

してから11年間勤めさせていただき、13年間色々な経験を積ませていただいたの復帰となりました。以前私がメープル(当時は支援センターと呼んでいまし

た)にいたころは多くの利用者の皆さんが年齢も若く一般企業に就職されていました。毎日仕事に行くこと、稼いだお金の範囲で生活をできるようにすることなど地域で生活するために心を鬼にして「怖い顔」で厳しく対応していたと思います。そんな怖い十川が久しぶりに帰ってくるので利用者の皆さんはさぞかし警戒されているだろうと思っていましたが勤務を始めて1週間多くの利用者の皆さんから「おかえり」と言ってもらい、「いつホームに来るの?」と歓迎ムードでうれしい反面、拍子抜けしてしまいました。13年も時間が経過すると30台前半だった私も40台後半になり、利用者の皆さんも当然歳を取り、多くが離職し高齢化の波が押し寄せてきています。もちろん13年前と同じ職場で変わらず頑張っている方もおられますが…。

以前のような「怖い顔」はしばらく隠して、まずは見守り利用者の皆さんがどう生きてきたのかを想像し、これからどう生きていくのかを一人一人に寄り添って一緒に考えていきたいと思っています。

「管理者紹介」続きは5月号で掲載します。



**令和5年度 造幣局特別観桜会にご招待いただきました**

4月6日(木)に令和5年度造幣局特別観桜会が開催され、当会も32名がご招待いただきました。

当日は曇り空でしたが、何とか雨も降らず一足早い桜の通り抜けを楽しませていただきました。

1883年(明治16年)から始まった桜の通り抜けは今年で140年目を迎えるとのこと。今年の通り抜けの桜は「舞姫」と「伊予熊谷」という2本の新種を含む140品種の桜の木が339本あるそうです。中でも、昨年からは始まった来場者の投票によって一番人気の桜を決める企画で“今年の花”となった「松月」という名の桜は、ひときわ華やかで風格がありました。

参加者一同、満開の桜を見上げながら憩いのひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

【満開の桜の通り抜け 造幣局めがね橋付近にて】

